

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年3月26日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

地域医療 北海道議会等で 2次医療圏問題で意見書採択！

釧路市立阿寒病院・民営縮小問題 住民運動などで存続決定 市長が白紙に



「近くの病院がなくなった。必要な医療が受けられず住み続けられない」など、地域医療は深刻な状態が広がっています。こうした中、都道府県ごとに医療提供体制の確保を図る「医療計画」の見直しの時期を迎えますが、2013年4月からの計画は、2012年度に策定することになります。

政府は、「医療計画作成指針」に2次医療圏（概ね入院医療の完結をめざす地域単位）の設定にあたり、「20万人未満の地域で流入患者割合が20%未満、流入患者割合が20%以上の場合は設定の見直しを検討する」としています。これを北海道に当てはめると、現在21の2次医療圏の内、半数が見直しの対象になります。

そのため、公立病院と地域医療を守る北海道連絡会は、道や道議会に対して、2次医療圏の見直しを行わないように、国へ働きかけるように要請してきました。3月23日の北海道議会で、「自主的設定」を求める国への意見書が可決されました。根室市議会や南幌町議会でも意見書が可決されています。

医療計画は、地域の実態や住民の要求に基づいた内容にするため、住民も参加し、知恵を出し合ひましょう。

釧路市立阿寒病院民営化、住民パワーで白紙に

昨年末に突如明らかになった、釧路市立阿寒病院の民営・縮小化方針に対して、友の会を含めた住民がすぐさま立ち上がり、1ヶ月あまりで地域住民の過半数を超える署名を集めて、市に撤回を求めていました。15日に行われた市議会で、釧路市長が不手際を陳謝して、正式に断念することを明らかにしました。

まさに、住民パワーの勝利です。（北海道民医連ニュースより）



介護問題 利用者や労働者の被害広がる！実態把握し相談支援活動も！

「訪問介護時間の短縮が提案された」など、北海道社保協にも電話やメールでの相談も

要支援2で訪問介護を利用している男性から、「ヘルパーさんに週2日、1回1時間半来てもらっていますが、包括支援センターの相談員から、『ヘルパー事業所から、安くなるから1時間にしてほしいと依頼があった』と説明されました。今でも足りません。30分も削られたら本当に困ります」と道社保協に相談の電話がありました。介護報酬のマイナス改定がきっかけです。今、訪問介護（生活援助）の短縮や通所デイの時間の区分の変更などもあり、ケアマネジャーが利用者と契約内容を相談しています。必要な介護が受けられない事態、利用料の値上げなどの被害が心配されます。

また、介護労働者から「処遇改善交付金による賃上げがされない」とメールで相談がありました。先日、道労連が行った電話相談でも、特別養護老人ホームの労働者からも相談がありました。

事業所の経営も深刻で、すでに道内でも閉鎖する事業所も生まれています。今でも劣悪な労働環境ですが、さらに労働条件の改悪や失業する事態も生まれかねません。福祉保育労への相談も増えています。制度改善のとりくみを進めながら、被害を少なくするため、実態をつかみ、相談、支援活動を進めましょう。

道内の介護保険料 最高は6100円 第4期に比べ50%アップ！1600円増も

一値上げの内容を知らせ、怒りの声を、保険料の軽減など制度改善にー 一般会計からの繰入自治体も

道内の介護保険料の全容が明らかになりました。ほとんどの市町村で値上げとなりました。最高は豊富町の6100円。最低の2800円の町と比べて3300円の差で、2.2倍と市町村に格差が広がっています。中には、値上げを抑えるため、基金などの取り崩しや一般会計から繰り入れをする町もありました。

6月には通知書が届き、8月分の年金から引かれます。値上げの内容と、介護保険料説明会など開催させ、その怒りの声を、国や市町村へ届けましょう。そして保険料軽減を求める取り組みを広げていきましょう。



各種保険料の値上げ、扶養控除等廃止による負担増、介護・医療は？
「4月からどうなる？道民の生活！被害を減らすには」学習会

4月21日（土）13:30～

札幌市教育文化会館402研修室